

「みんなの地球のためにチャレンジ！カーボンニュートラルやまがた県民運動」について

山形県内の温室効果ガス削減率（第4次山形県環境計画より）

H25年度
（基準年）

H29年度
▲16.4%

R3年度
▲22.7%

R12年度（目標）
▲50%

R32年度（目標）
▲100%

1. カーボンニュートラルやまがた県民運動

（1）概要

県民一人ひとりが身近なところから、できることからカーボンニュートラルに向けたアクションにチャレンジし、「豊かで美しい山形県」を県民総ぐるみで将来の世代に継承していく運動

（2）推進体制

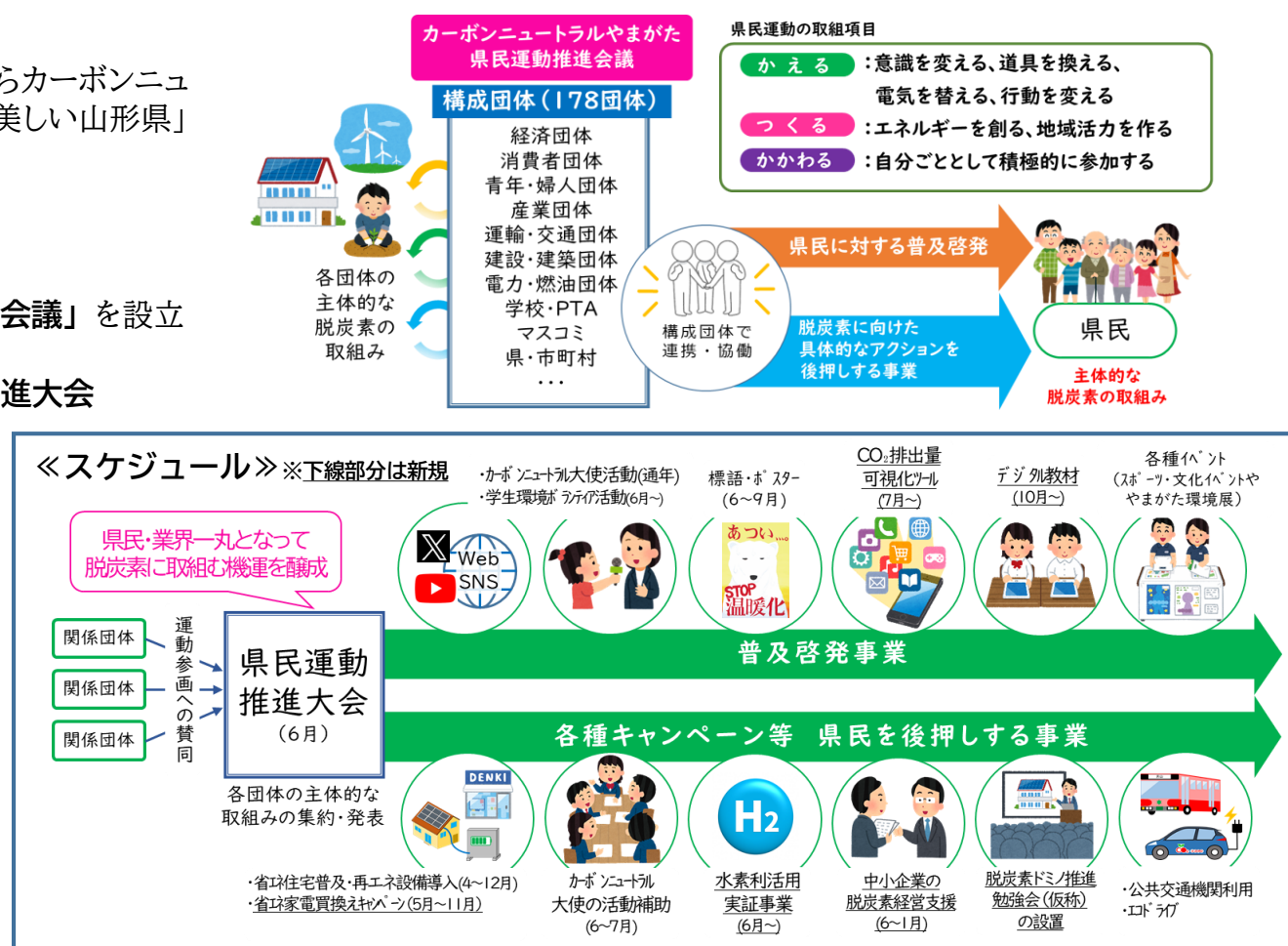
令和4年に、県民運動の推進組織として
「カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議」を設立

（3）カーボンニュートラルやまがた県民運動推進大会

令和7年度は6月3日（火）に開催



令和6年度の県民運動推進大会



2. 県民運動の主な事業

かえる

やまがた省エネ健康住宅(※)・再エネ設備パッケージ補助金(4月～12月)

年間のエネルギー使用量の収支をゼロとする住宅を新築する場合、その経費の一部を補助

○補助対象：やまがた省エネ健康住宅と併せて
太陽光発電設備等を設置する新築住宅等

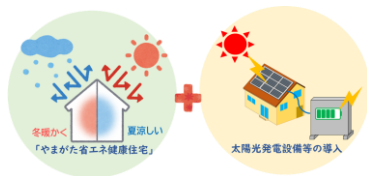
○補助金額：最大200.2万円

※やまがた省エネ健康住宅

最も寒い時期の就寝前に暖房を切って翌朝暖房を稼働させない状況でも室温が10℃を下回らない断熱性能と気密性能を持つ住宅



やまがた省エネ健康住宅
やまぽっか



省エネ住宅普及啓発セミナー(7月～2月)

省エネ住宅のメリットを学ぶ県民向けセミナーと、省エネ住宅を建築する上で必要となる施工方法等を学ぶ事業者向け研修会を開催

事業者向け研修会→



新規

金融機関と連携した県内企業の脱炭素経営促進(6月～1月)

- ・脱炭素経営の必要性やメリットを伝えるセミナーを開催
- ・金融機関と連携して自社の脱炭素経営に向けた取組みを検討する経営塾を開催



新規

省エネ家電買換えキャンペーンの実施(5月～11月)

家庭で使用している家電製品の買換えのため、キャンペーン期間中に対象店舗で対象製品を購入した方に賞品を交付



新規

県民のCO2排出量の見える化等による脱炭素アクションの推進(7月～)

- ・県民個人の生活に係るCO2排出量を可視化できるツールを作成
- ・可視化ツールの活用促進のため県内スポーツイベントやメディア・SNS等による普及啓発



新規

水素エネルギーの利活用に関する実証事業(6月～)

本県初となる実証事業を支援し、水素の利活用を推進



2. 県民運動の主な事業

つくる

やまがた省エネ健康住宅(※)・再エネ設備パッケージ補助金(4月～12月)
(県土整備部と連携) **【再掲】**

年間のエネルギー使用量の収支をゼロとする住宅を新築する場合、その経費の一部を補助

○補助対象：やまがた省エネ健康住宅と併せて
太陽光発電設備等を設置する新築住宅等

○補助金額：最大200.2万円

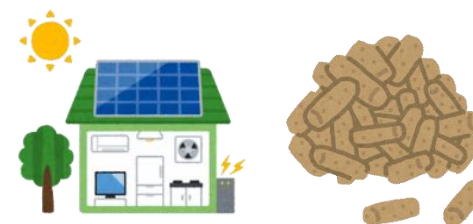
※やまがた省エネ健康住宅
最も寒い時期の就寝前に暖房を切って翌朝暖房を稼働させない状況でも室温が10℃を下回らない断熱性能と気密性能を持つ住宅



やまがた未来くるエネルギー補助金(5月～)

家庭や事業所が再生可能エネルギー等設備を導入する場合、その経費の一部を補助

○補助対象設備：蓄電池設備、木質バイオマス燃焼機器、
地中熱利用空調装置・融雪装置



カーボンニュートラルチャレンジ応援補助金(6月～7月)

カーボンニュートラル大使(※)が実施するカーボンニュートラルにつながる活動に対し補助金(上限5万円/団体)を交付

※カーボンニュートラル大使
カーボンニュートラルの実現に向けた取組みを実践している
県内小・中・高校生のグループ10団体(令和6年度)



2. 県民運動の主な事業

かかわる

拡充

小学生向け学習教材の配布(10月～)

子供の頃から地球温暖化の理解を深め、「自分ごと」として自ら行動できる環境人材の育成のため、小学生向けにわかりやすく脱炭素化の取組みを解説したデジタル教材や動画、ガイドブックを作成



カーボンニュートラル大使啓発動画作成(9月～2月)

カーボンニュートラル大使が取り組んでいる内容を動画で配信



カーボンニュートラル標語・ポスターコンテスト(6月～9月)

「カーボンニュートラル実現への思い」を標語やポスターで表現した作品を県民から募集

《令和6年度グランプリ作品》

◆ 標語

小学生の部	この地球 守るもこわすも 人しだい
中学生の部	脱炭素 未来のために 今アクション
一般の部	選ぶなら 省エネ家電を エコひいき

◆ ポスター



【小学生の部】



【中学生の部】

学生環境ボランティアによる普及啓発(6月～)

県内の大学生等を学生環境ボランティア(やまカボ・サポーター)として登録し、イベントへのブース出展や出前講座を実施



「やまがた脱炭素ドミノ推進勉強会」について【優良事例展開の山形モデル】



- ◇ 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、県が中心となり、先進的・効果的な脱炭素施策に取り組む市町村や県内企業と連携しながら県内各地へ波及させ、本県内における脱炭素ドミノを展開するための、足掛かりとなる勉強会を新たに設置。

カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議

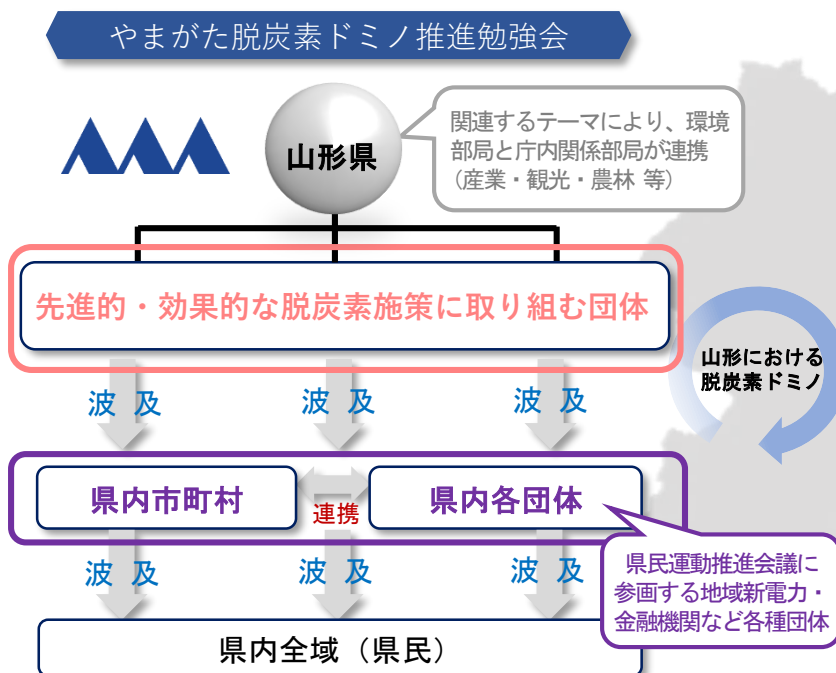
- 県民総ぐるみで脱炭素に向けた取組みを展開していくことを目的として設立（R4.5月）
- 知事を会長とし、全市町村のほかエネルギー関連団体や経済団体など県内178団体が参画 ⇒ 各種取組みを県内各地へ波及
- 毎年の県民運動推進大会の開催により、県民一丸となって脱炭素に取り組む機運を醸成

みんなの地球のためにチャレンジ！
カーボンニュートラルやまがた県民運動



やまがた脱炭素ドミノ推進勉強会

新規



- 脱炭素の先進事例を県内各地へ波及させていくため、「カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議」の下に、『やまがた脱炭素ドミノ推進勉強会』を設置する
 - ⇒ **先進的・効果的な脱炭素施策**を推進する自治体や民間企業の取組内容について紹介するとともに、他の市町村や各団体等と意見交換・情報交換を行う**勉強会**を開催
 - 県内外を問わず、先進的・効果的な脱炭素施策に取り組む自治体や企業を講師として招聘し、取組内容やノウハウを紹介
 - 参加者とのフリーディスカッションなども実施しながら、各団体が抱える課題解決につなげる
 - 座学形式の勉強会のほか、県内先進地視察等も実施
 - ⇒ 勉強会に参加する市町村や各種団体は自らの取組みへ還元
 - ⇒ 脱炭素のキープレーヤーとなる地域新電力等のエネルギー関連企業も参画することで、脱炭素に取り組む市町村や企業のつながりを生み出し、新たな共同事業構築の足掛かりを創出（地域間連携・部門間連携の促進）
 - ⇒ 山形県を牽引する優良事例を増やし、地域への更なる波及につなげていく

⇒ 県内各地での脱炭素の取組みを促進

2050年カーボンニュートラルの実現

「カーボンニュートラルやまがたアクションプラン」の改定について

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、県民総ぐるみの県民運動を引き続き着実に展開するため、県民、事業者等が主体的に行う脱炭素の取組みを明示した「カーボンニュートラルやまがたアクションプラン」（R3～R7）について、内容を見直す。

- 改定方針**
- ・ 県民運動の展開や「さくらんぼ未来の地球を守る条例」の制定など**これまでの取組みを踏まえ、取組み内容をアップデート**する
 - ・ 「**カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議**」の中に改定検討に向けた**ワーキングチーム**を設け、取組み内容を検討する
 - ※ **次代を担う若者の意見を積極的に取り入れる**観点から、「やまカボ・サポーター」等の意見も反映

カーボンニュートラルやまがたアクションプランについて

1 経過

- ・ R2.8月、吉村知事が「**ゼロカーボンやまがた2050**」を宣言。
- ・ R3、「ゼロカーボンやまがた2050」の実現に向けた今後の施策等について、県民、有識者等から構成される会議を組織し、検討。「**カーボンニュートラルやまがたアクションプラン**」として取りまとめた。
- ・ R4に「**カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議**」を立ち上げて以降、年間を通じた普及啓発等の県民運動を展開。

2 アクションプランの概要

(1) 策定の趣旨

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、県民・事業者等が主体的に行う取組みを明示し、それぞれの行動に結び付けるもの

(2) 対象期間

令和3年度～7年度(5年間) ⇒ **改定後：令和8年度～12年度(5年間)**

(3) プランのスキーム(取組みの柱とアクション主体)、アクションの方向性

徹底した省エネの推進	家庭(県民)
再生可能エネルギーの導入拡大	産業・事業(事業者)
その他のアクション	公共分野(行政)

かえる	意識を変える、道具を換える、電気を替える、行動を変える
つくる	エネルギーを創る、地域活力を作る
かかわる	自分ごととして積極的に参加する

未来のために、**脱炭素アクション**を今、始めましょう

【具体的なアクション(取組み内容)の例】

省エネ×家庭	家電の買い換え	省エネ×事業	省エネ診断の活用
再エネ×家庭	再エネ電力への切替	再エネ×事業	再エネ設備導入
その他×家庭	環境活動への参加	その他×事業	経営意識の転換

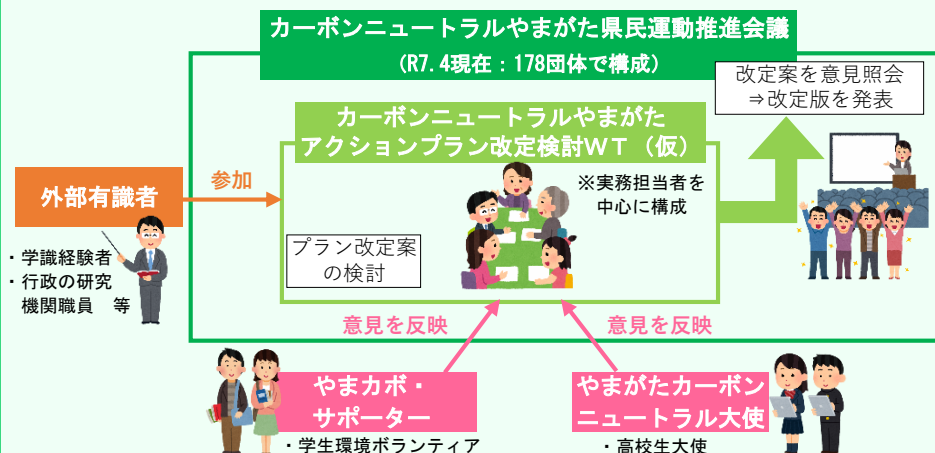
新たなアクションの追加など、取組み内容をアップデート

(4) 数値目標(第4次山形県環境計画と共通の目標値)

項目	目標値(2030(R12)年)
やまがた健康住宅の年間新築戸数	360戸/年
環境マネジメントシステムに基づく取組みを行っている事業所	800事業所
全登録車数に占める次世代自動車普及率	50%[243,000台]
民有林における新規間伐面積(R1からの累計)	26,000ha
県内電力総需要量に対する県内で発電された再生可能エネルギーの割合	43.4%

アクションプラン改定に向けた検討体制(案)

- ・ カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議において「**カーボンニュートラルやまがたアクションプラン改定検討ワーキングチーム(WT)**」(仮称)を設け、取組み内容を検討。



やまカボ・サポーター

県内の大学等を対象に、環境に関する普及啓発活動を行う学生環境ボランティアを募集し、一定の研修を受講した方を、県がサポーターとして登録

やまがたカーボンニュートラル大使

県内小・中・高生によりそれぞれ構成され、環境に関心を持ち、カーボンニュートラルの実現に向けた取組みを実践しているグループを、県が大使として委嘱

アクションプラン改定に向けたスケジュール(案)

- ・ R7. 6月 県民運動推進大会にて改定方針・体制(WT)等について説明
 - ・ R7. 夏頃 複数回にわたりWTを開催・検討
 - ・ ~R8. 2月頃 (骨子案協議 → プラン案協議)
 - ・ R8. 3月 アクションプラン改定
- ・ 環境計画改定の検討と連動
・ やまカボ・大使意見を反映
- 県民運動推進会議の構成団体へプラン案を提示、意見照会